

転職者インタビュー（臨床工学技士→経営・医療事務）

おのづか在宅クリニック

小野塚豊

氏名：小野塚豊（1993年生まれ）

所属・役職：おのづか在宅クリニック・事務局長

経歴：2013年03月 東京医薬専門学校卒業

2013年04月 埼玉医科大学国際医療センター
主に、血液浄化・ICU業務に従事

2017年01月 3学会合同呼吸療法認定士取得

2017年10月 透析技術認定士取得
業績多数（学会発表・論文・執筆など）

2019年04月 医療法人 あんず会 杏クリニック
統括部長

2021年02月 おのづか在宅クリニック開院
同クリニック事務局長（経営、医療事務などの業務に従事）



Q：今回は、おのづか在宅クリニックで事務長をされている小野塚豊さんにお話を伺います。よろしくお願ひします。まず初めに、結婚後は臨床工学技士でしたが、クリニック経営の道を選んだ理由やきっかけがあれば教えてください。



小野塚：医師である妻が勤務していた訪問診療のクリニックから統括部長として、声をかけていただいたことがきっかけでした。訪問診療の場合、診療する医師に事務スタッフが同行することも多いのですが、前職のクリニックでは、事務スタッフのほとんどが医療の現場の経験がない方で、そういった部分を特にアドバイスさせていただきました。そこで、訪問診療（在宅医療）のやりがいを強く感じました。その後、「自分達のクリニック」を持ちたいという気持ちが芽生え、坂戸・鶴ヶ島で訪問診療のクリニックが不足している現状もあり、開業に至りました。

Q：現在の小野塚さんの家庭での生活やクリニックでの業務スケジュールなど、平日はどのように過ごされていますか？休暇などはどうでしょうか？

小野塚：だいたい、7時くらいに起きて、8時に家を出て、8時半～17時半で勤務して帰るという普通の生活です。家事は分担していますが、クリニックは24時間365日往診対応しているので、妻が往診などでいないときは私が子供を迎えに行ったりすることもあります。自分が経営者なので、自由に近

い一方、土日もない感じになります（笑）。現在、コロナ禍で病院や施設での面会に制限があるため、最期は自宅で過ごされたいという患者様は多く、お看取りするケースも増えてきました。そのため、夜中に往診対応やお看取りのために電話が鳴ることもあります。平日の子供の行事などには、スケジュール調整をして参加しています。

少し長めの休暇のときは、外勤の先生とクリニックのスタッフにオンコールをお願いしていますが、MedicalCareStation（医療介護用のチャットツール）を用いて、訪問看護師さん、ケアマネージャーと連携し、患者さんの状態を共有するようにしています。

Q：開院するにあたり、特に勉強したことはなんですか？

小野塚：前職時に訪問診療の仕組みや経営などについての基礎を多く学ぶことができました。訪問診療の分野は、一般の外来診療とは違う特殊な算定も多いので、訪問診療を行なっている医師が執筆している書籍で勉強しました。

Q：クリニックの経営などの仕事ですと、小野塚さんの今までの技士時代とは全く異なる仕事の内容かと思いますが、開院前や開院したあとで、大変だったことはありますか？



小野塚：開院前で、とくに一番大変だったのが、テナント探しでした。訪問診療なので、外来診療クリニックほどの立地条件は求めていませんでしたが、使いやすい広さ・間取りもそうですし、雇うスタッフが出勤しやすい立地や駐車場、ランニングコストなども含めて、条件を満たすところがなかなかなくて苦労しました。開院当初は少ないスタッフでやっていたので、次の日の準備やカルテ整理、診療報酬の算定など残って1人でやることも多く、大変でしたね。今は、ある程度、運営の仕組み化ができ、スタッフも増えたので楽になりました。

Q：臨床工学技士時代または、クリニック経営後で心に残っているエピソードがあれば教えてください。

小野塚：技士3年目の日本透析医学会で、口演4演題、ポスター1演題発表したことが1番心に残っています。あの時はデータ集めが大変で、スライド作りもあったので、毎日病院にいましたね。しかも結婚式の時期も重なっていて、結婚式準備はほとんど妻に任せっきりで、申し訳なく思っています（笑）。私は元々信用組合で働いていて、臨床工学技士の養成校に入り直し国家試験を受けました。大学病院に入職してからは、早く一人前になりたいと、遅くまで残って、プライミングや回路交換の練習、先輩の学会の手伝いをよくしていました。大変な時もありましたが、充実感が非常にありましたし、基礎を作っていただいた時期だと思っています。

Q：地域でクリニック経営をされており、経営者の立場で、地域の患者様やおのづか在宅クリニックのスタッフさんに対して、大切にしていることはなんですか？

小野塚：患者様のことを「本気で考える」を大切にしています。何が重要なのか、何が問題なのか？願いは何なのか？など患者様自身の想いを第一に考えています。

当院のスタッフに対しては、現在は常勤4名、非常勤4名いて、楽しくのびのび仕事ができることを大切にしています。みんなが話しやすい環境が必要だと考えています。

Q：小野塚さん個人の今後の目標・野望（笑）など教えてください！

小野塚：地域に根ざしたクリニックなることを目指しています。開業してまだ1年半ですが、「訪問診療ならおのづか在宅クリニックに頼みたいよね！」って、言ってもらえるようなクリニックになりたいですね。

Q：今回は、貴重な時間をいただきありがとうございました。最後になりますが、読者の皆様にメッセージ（宣伝、採用情報など）があればお願いします！

小野塚：現在、在宅酸素療法の対応（人工呼吸器の回路交換など）をメーカーさんが主でやっていますが、臨床工学技士が主導でやっている訪問診療の施設もあります。今後、活躍が期待される領域かもしれません。訪問診療に興味がある方は是非見学にいらしてください。



おのづか在宅クリニック（内科、訪問診療）

住所：埼玉県鶴ヶ島市鶴ヶ丘 27-12 クレセール・フジ 201 号室

TEL/ FAX：049-298-8031/049-298-8032

E-Mail：yutaka_onozuka@onozuka-homecare.com

（お気軽にご連絡ください。小野塚豊）